



JR 東日本八王子駅パンフ配布処分事件 「第4回調査」報告集会 開催！

10月8日、「八王子駅パンフ配布処分事件」の東京都労働委員会「第4回調査」が行われました。

【輸送サービス労組の主張】

- ① 会社は職場規律を遵守する事が必須だとして「国鉄時代からの経緯」等を持ち出しているが、そのような**30年以上も前の事とは無関係である事。**
- ② 本件組合活動は極めて平穏なものであって、**職場秩序を乱すおそれなど皆無である事。**
- ③ 裁判例等に照らしても本件組合活動は**正当なものであり、** 嚴重注意は**不当労働行為であることを主張。** さらに会社は、パンフ配布に関わる「社員の皆さんへ」なる掲示物について「**2週間ほどで外している**」と前回の調査で説明していたが、**半年以上も経過した今年3月19日にも掲示されていることを指摘し、** 会社の説明は**虚偽であると主張。**

公益委員より、2つの争点に整理される！

- 争点1 会社の、2名の組合員がパンフレットを配布したことに
対する嚴重注意を行ったことが**正当な組合活動に対する
不利益取扱い、組合の運営に対する支配介入にあたるか。**
- 争点2 管内各事業場に「社員の皆さんへ」を掲示したことが組合
の**運営に対する支配介入にあたるか。**

次回「第5回調査」は11月17日(水)11時30分から行われます。

10月9日、国分寺労政会館において報告集会を開催しました。参加した組合員より、一部管理者から添乗指導の際「**JTSU-Eには移らないよね?**」や、転勤してきた組合員に対して「**社長の首に刀を突きつける組織にいるのか?**」との発言があった事が紹介されました。また、面接試験の練習や委員会活動などあらゆる場で**脱退を促す発言や、輸送サービス労組に対する嫌悪感むき出しの発言が行われている実態が報告**されました。



不当労働行為が企業体質化している現状から「働きがい・生きがい」を感じられる職場風土を取り戻すため、当たり前前の組合活動をこれからも**推し進めていきます。**

**この期に及んで虚偽や脱退懲慥を繰り返す経営体質を変えるため
輸送サービス労組は全組合員でたたかい抜きます！**